

関係者各位

2015年6月5日
相鉄不動産株式会社

鉄道地下化で変貌する「調布」駅前×「商・業・住」複合再開発プロジェクト 『グレースシア調布(総戸数120戸)』 竣工・引渡し

相鉄不動産株式会社(本社:横浜市西区/取締役社長:清水 隆敏)は、京王線「調布駅」駅前の複合再開発プロジェクト(以下「本再開発プロジェクト」とする。)'グレースシア調布'(総戸数120戸)が竣工し、6月5日に引渡しをしましたのでお知らせいたします。

本再開発プロジェクトは京王線連続立体交差事業、駅前広場の整備等に伴い、調布駅周辺の計画的なまちづくりと連携し、駅の南北を繋ぐ主要な都市計画道路や区画道路等の都市基盤を整備することを目的に事業が進められてまいりました。

その中で本再開発プロジェクトが立地する調布駅北口は、駅前にふさわしい魅力的な商業、業務施設の創出と住み続けられる都市型住宅を供給することにより、様々な都市機能が調和した、にぎわいと活力のある地域拠点を形成するべく、平成10年にまちづくり勉強会が開催し、平成18年に都市計画決定されました。

当社は平成24年6月に公募型プロポーザルにより事業協力者に選ばれ、今日まで本再開発事業に関わって来ました。

また、参加組合員として再開発組合と一体となり、商品企画、建物管理含めて事業を推進してまいりました。

なお、本再開発プロジェクトの住宅部分はもちろん建物全体名称も相鉄不動産のマンションブランド名である「グレースシア調布」を冠し、管理につきましても住宅、商業施設等も含めた全体を相鉄グループの相鉄企業株式会社、株式会社相鉄リビングサポートで一体管理しております。

当社は、相模鉄道の不動産分門としてスタートして以来、沿線を中心に60年以上にわたって住宅地開発事業を行ってまいりました。特に権利者の方々と一緒に事業を推進する区画整理事業は20ヶ所以上、約500haもの実績を有しています。その経験を踏まえて、近年では住宅系の再開発・マンション建替事業等については6件の竣工実績、計画・推進中の物件については5件と業界でも着実に実績を積み重ねております。直近では相鉄線「二俣川」駅や東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅などの複数の再開発事業を推進しております。今後はこのような複合開発事業の積極的推進に加え、社会問題化している老朽化した団地の建替え等により注力し、相鉄グループの総合力を活かした再開発事業に取り組んでまいります。



グレースシア調布竣工写真(左:外観南側、右上:鳥瞰、右下:1階エントランスホール)

GRACIA

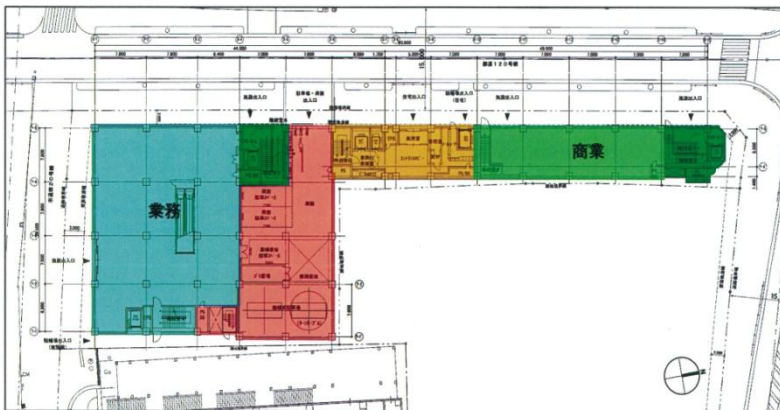
ずっと、ほっと、うれしい。

《従前の状況》 歩道もなく、古い建物が密集した状態

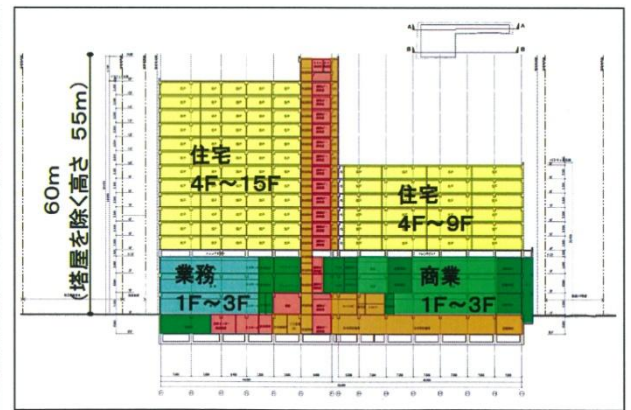


従前の状況写真(左:敷地南角、右:敷地西側)

《施設平面図(1階部分)》



《施設立面図》



《これまでの経緯と今後のスケジュール》

- | | |
|----------|----------------------------|
| 平成10年3月 | まちづくり勉強会開催 |
| 平成11年5月 | 再開発研究会発足 |
| 平成14年4月 | 再開発準備組合設立 |
| 平成18年6月 | 都市計画決定 |
| 平成22年6月 | A・B2地区に分離して
事業を進めることを決定 |
| 平成23年4月 | 都市計画変更 |
| 平成23年10月 | 組合設立認可 |
| 平成24年10月 | 権利変換計画認可 |
| 平成25年6月 | 本件工事着工 |
| 平成27年3月 | 建築工事竣工 |
| 平成27年度 | 組合解散(予定) |
| 平成28年度 | 清算(予定) |

《区域及び公共施設の配置図》

